

殺虫剤 ニテンピラム水溶剤 ベストガード [®] 水溶剤	農林水産省登録 第19102号 (住友化学(株)登録) 性状：青緑色水溶性細粒 毒性：普通物(毒物及び劇物に該当しないものをいう通称) 危険物：非該当 有効年限：4年 包装：100g×60, 500g×20
---	---

有効成分：ニテンピラム（化管法第2種）・・・・・・10.0%

殺虫剤分類4A

ベストガード[®]は住友化学(株)の登録商標です。

特長
○ベストガードはクロロニコチニル（ネオニコチノイド）系殺虫剤です。高い浸透移行性とトランスラミナー効果を兼ね備え、カメムシ目害虫およびアザミウマ目害虫などに対して高い効果を発揮します。また難防除害虫のミカンキロアザミウマやカメムシ類コナカイガラムシにも防除効果が認められます。
○ユニークな殺虫作用：ベストガードは従来の神経系殺虫剤（有機リン剤、カーバメート剤、合成ピレスロイド剤など）とは異なった作用を持ち、既存薬剤抵抗性アブラムシ類、ツマグロヨコバイなどに高い効果を示します。
○低薬量で高い活性を持つ：低薬量でアブラムシ類・アザミウマ類・コナジラミ類・ヨコバイ類・ウンカ類・カメムシ類・コナカイガラムシに経口および経皮的に作用し、高い効果を発揮します。
○効果の持続性に優れる：効果が長く持続するので経済性・省力性につながります。 浸透移行性・トランスラミナー効果に優れる：浸透移行性に優れるため、未処理部においても高い防除効果がみられます。 また葉表から葉裏へ成分が移行するトランスラミナー効果も兼ね備えています。
○薬害の心配が少なく、多くの作物に利用できる：野菜、果樹、茶、花き、たばこ幅広い作物に適用を持ち、幼苗期の散布においても薬害の心配が少ない薬剤です。
○有用生物・天敵等に対する影響が比較的小さい：ケシカタビロアメンボ成虫（ウンカの天敵）、ツマグロヨコバイタマゴバチ（ツマグロヨコバイの天敵）やケナガカブリダニ（ハダニの天敵）、ケシハネカクシ（ハダニの天敵）などに実用濃度で悪影響がなく、圃場試験観察にてクモ類に対する悪影響もないことが確認されています。
○顆粒タイプの水溶性：水に溶けやすい顆粒状。薬液調製時に粉立ちが少なく散布者への配慮もしています。作物に汚れがつきにくい事も特長のひとつです。
○コンパクトなボトル入り：コンパクトな超軽量ボトル入り。紙ラベルをはがすと容易につぶれ、小さくたたむことができます。

適用病害虫名及び使用方法

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	10アール 当り 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ニテンピラムを 含む農薬の 総使用回数
もも りんご	ー	アブラムシ類	1000～ 2000倍	200～ 700ℓ	収穫14日前 まで	3回以内	散布	3回以内
なし	ー	アブラムシ類 チュウゴクナシキジラミ カメムシ類 アザミウマ類	1000～ 2000倍	200～ 700ℓ	収穫14日前 まで	3回以内	散布	3回以内
ぶどう	ー	コナカイガラムシ類 アザミウマ類	1000～ 2000倍	200～ 700ℓ	収穫30日前 まで	3回以内	散布	3回以内
		フタテンヒメヨコバイ	1000倍					
かき	ー	チャノキイロアザミウマ	1000倍	200～ 700ℓ	収穫7日前 まで	3回以内	散布	3回以内
かんきつ	ー	アザミウマ類 アブラムシ類	1000～ 2000倍	200～ 700ℓ	収穫7日前 まで	3回以内	散布	3回以内
マンゴー	ー	チャノキイロアザミウマ	1000倍	200～ 700ℓ	収穫7日前 まで	2回以内	散布	2回以内
ばれいしょ	ー	アブラムシ類	1000～ 2000倍	100～ 300ℓ	収穫14日前 まで	4回以内	散布	5回以内 (植付時までの処理は 1回以内、 植付後は4回以内)
かんしょ	ー	コナジラミ類	1000倍	100～ 300ℓ	育苗期	3回以内	散布	3回以内
		アブラムシ類	1000～ 2000倍					
メロン すいか	ー	コナジラミ類 アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ	1000～ 2000倍	100～ 300ℓ	収穫7日前 まで	3回以内	散布	4回以内 (定植時までの処理は 1回以内、定植後は 3回以内)
きゅうり	ー	コナジラミ類 アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ クロバネキノコバエ類	1000～ 2000倍	100～ 300ℓ	収穫前日 まで	3回以内	散布	4回以内 (定植時までの処理は 1回以内、定植後は 3回以内)

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	10アール 当り 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ニテンピラムを 含む農薬の 総使用回数
カリフラワー ブロッコリー	－	アブラムシ類 アザミウマ類	2000倍	100～ 300ℓ	収穫前日 まで	3回以内	散布	5回以内 （育苗期は1回以内、 定植時は1回以内、 定植後は3回以内）
とうがらし類	－	コナジラミ類	1000～ 2000倍	100～ 300ℓ	収穫前日 まで	3回以内	散布	4回以内 （定植時までの処理は 1回以内、定植後は 3回以内）
ピーマン	－	アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ コナジラミ類	1000～ 2000倍	100～ 300ℓ	収穫前日 まで	3回以内	散布	4回以内 （定植時までの処理は 1回以内、定植後は 3回以内）
なす	－	コナジラミ類 アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ カメムシ類	1000～ 2000倍	100～ 300ℓ	収穫前日 まで	3回以内	散布	4回以内 （定植時までの処理は 1回以内、定植後は 3回以内）
トマト ミニトマト	－	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミウマ類 クロバネキノコバエ類	1000～ 2000倍	100～ 300ℓ	収穫前日 まで	3回以内	散布	4回以内 （定植時までの処理は 1回以内、定植後は 3回以内）
いちご	－	アブラムシ類 チビクロバネキノコバエ コナジラミ類	2000倍	100～ 300ℓ	収穫前日 まで	3回以内	散布	4回以内 （定植時の土壌混和は 1回以内、株元散布及び 散布は合計3回以内）
レタス	－	アブラムシ類	2000倍	100～ 300ℓ	収穫3日前 まで	3回以内	散布	4回以内 （定植時までの処理は 1回以内、定植後は 3回以内）
だいこん	－	アブラムシ類	1000～ 2000倍	100～ 300ℓ	収穫7日前 まで	3回以内	散布	3回以内
モロヘイヤ	－	コナジラミ類	2000倍	100～ 300ℓ	収穫7日前 まで	3回以内	散布	3回以内
アスパラガス	－	コナジラミ類	1000倍	100～ 300ℓ	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内
ねぎ	－	ネギアザミウマ ネギハモグリバエ クロバネキノコバエ類	1000～ 2000倍	100～ 300ℓ	収穫前日 まで	3回以内	散布	4回以内 （定植時までの処理は 1回以内、定植後は 3回以内）
たまねぎ	－	ネギアザミウマ	1000倍	100～ 300ℓ	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
			16倍	1.6ℓ			無人航空機 による散布	
			32倍	3.2ℓ				
せり	水田	アブラムシ類	2000倍	100～ 300ℓ	収穫14日前 まで	3回以内	散布	3回以内
せり （水耕栽培）	ガラス室 等の施設	アブラムシ類	2000倍	100～ 300ℓ	収穫14日前 まで	3回以内	散布	3回以内
食用 べにばな(花)	－	ナモグリバエ	2000倍	100～ 300ℓ	収穫7日前 まで	2回以内	散布	2回以内
食用ぎく	－	コナジラミ類 ミカンキイロアザミウマ	1000倍	100～ 300ℓ	収穫7日前 まで	2回以内	散布	4回以内 （株元散布は2回以内、 散布は2回以内）
		アブラムシ類	1000～ 2000倍					
茶	－	チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ	1000～ 2000倍	200～ 400ℓ	摘採7日前 まで	2回以内	散布	2回以内
花き類・観葉植 物（ばら、きく を除く）	－	コナジラミ類	1000倍	100～ 300ℓ	発生初期	4回以内	散布	4回以内
		アブラムシ類	1000～ 2000倍					

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	10アール 当り 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ニテンピラムを 含む農薬の 総使用回数
ポインセチア	－	アブラムシ類	1000～ 2000倍	100～ 300ℓ	発生初期	4回以内	散布	4回以内
		コナジラミ類 チビクロバネキノコバエ	1000倍					
きく ばら	－	コナジラミ類 ミカンキイロアザミウマ	1000倍	100～ 300ℓ	発生初期	4回以内	散布	4回以内
		アブラムシ類	1000～ 2000倍					
たばこ	－	アブラムシ類 タバコノミハムシ	2000倍	100～ 180ℓ	収穫10日前 まで	1回	散布	1回

使用上の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- ボルドー液など強アルカリ性の薬剤とは混用しないでください。
- ぶどうに使用する場合、袋かけ直前の散布では果粉が溶脱するおそれがあるので、使用をさけてください。
- せりに使用する場合は、水田以外での使用はさけてください。
- せり（水耕栽培）に使用する場合は、本剤を使用した施設からの廃液をかんがい水路、排水路、河川等には絶対に流さず、適切に処理してください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態、散布方法に合わせ調節してください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意事項

- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意を守ってください。
 - 散布は各散布機種の散布基準に従って実施してください。
 - 散布に当っては散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
 - 散布薬液の飛散によって自動車やカートタンの塗装等に影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
 - 散布終了後は次の事項を守ってください。
 - ・ 使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に廃棄してください。
 - ・ 機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
- 蚕に対して影響があるので桑にかからないように注意してください。かかった場合は 15日間給桑しないでください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。 無人航空機による散布でそれらに飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
 - 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
 - 関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- マルハナバチに影響があるので注意してください。
- 散布の際は必ず農薬用マスクなどを着用し、作業後はうがいをしてください。

保管に関する注意事項

- 使用後、保管の際には必ずキャップをしてください。
- 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。